



ネットめばえ



発行：公益財団法人兵庫県生きがい創造協会 西播磨文化会館内 西播磨生活創造プラザ
〒679-4311 たつの市新宮町宮内 458-7 URL: <http://nishiharimabunka.jp>

桑の葉茶づくりで地域を元気に

「MORE 繁盛」 繁盛地区まちづくり協議会

5月27日(日)若葉の鮮やかな季節に、かつて養蚕が盛んだった天空の里山、宍粟市一宮町草木地区で桑の葉茶づくりが開催されました。草木地区は宍粟市の北部に位置し、標高500mほどの山あいにある10世帯15人の小さな村です。50年以上たつ古木の桑の木から年に1回、1日で100キロほどの葉を手摘みします。薪火で蒸して、手もみをして乾燥させて出来上がりです。



桑の葉の手摘み

7年前から桑の木を生かして草木地区で桑の葉の健康茶を作り始められました。今では、草木地区の特産品となりましたが、高齢化が進み自治会だけでは無理になり、体験型を3年前から取り入れて“一緒にお茶をつくりませんか”と募られました。今年は16名の参加があり、京都や加古川の方からも来られていました。

草木自治会長の米田正富さんは、一宮町の繁盛地区まちづくり協議会「MORE 繁盛」の代表でもあります。繁盛地区は8つの自治会からなる地域で、それぞれの地区を元気にし、将来を継続的に考える組織として立ち上がったそうです。昨年からは地域おこし協力隊の小鹿由加里さんと共に情報発信や交流の取り組みにも



手もみと乾燥準備

力を入れられています。私たちも4月に開催された西播磨フロンティア祭の「西播磨ふるさとバザール」で「MORE 繁盛」の取り組みを知り体験に参加しました。

お昼には地元の方の手づくり料理や桑の葉入りのシフォンケーキも出していただき、清らかな空気や自然の中で丸一日地域の人々と和気あいあいと楽しく、桑の葉茶づくりを体験してきました。

【取材・文責：津志晴美】

生活創造応援隊 「出る杭大会」に参加 西播磨フロンティア祭2018

4月29日(日)雲一つない初夏を感じさせる快晴の中、播磨科学公園都市内の光都プラザ前芝生広場で、第17回「出る杭大会」が開催され、たくさんの入場者で賑わいました。

私たち生活創造応援隊は、昨年引き続き、西播磨生活創造しんぶん「ネットめばえ」や応援隊の研修会の様子をブースでパネル展示し、来場者に「ネットめ

ばえ」を配布しました。

また、「第17回出る杭大会」出場団体ブースやふるさとバザールコーナーに出店している団体を訪れ、「ネットめばえ」を配付しました。取材・情報収集するためのネットワーク作りに取り組みました。

ステージ部門に出演する隊員もおり、大変忙しくまた楽しい一日になりました。



めばえちゃんと応援隊員

来年は「出る杭大会」に参加してみませんか。

【取材・文責：松本一己】